

第5回 大崎上島町振興基本計画審議会 議事要旨

【開催概要】

会議名 第5回大崎上島町振興基本計画審議会
 開催日時 令和6年12月20日（金）13時40分～15時15分
 開催場所 大崎上島町本庁2階会議室（大崎上島町東野6625-1）

出席者 20名

氏名	団体名	役職	出席者
有田 卓也	大崎上島町社会福祉協議会	会長	○
浅岡 法光	大崎上島町連合区長会	会長	○
児玉 昭彦	大崎上島町連合区長会	副会長	欠席
山田 泰三	大崎上島町連合区長会	副会長	○
信谷 裕	大崎上島町商工会	会長	代理：幸家 大
金子 仁	広島ゆたか農業協同組合	代表理事組合長	代理：近藤 範之
中村 修司	大崎内浦漁業協同組合	代表理事組合長	○
濱中 国雄	大崎上島漁業協同組合	代表理事組合長	○
下末 法子	大崎上島町商工会女性部	部長	○
岡田 太郎	大崎上島町商工会青年部	部長	○
中原 幸太	大崎上島町観光協会	会長	○
逸見 真	広島商船高等専門学校	校長	○
岩崎 太郎	大崎上島町農業委員会	会長	欠席
森本 儉	大崎上島町民生委員児童委員協議会	会長	○
堀 一朗	青少年育成大崎上島町民会議	会長	○
田房 明美	大崎上島町女性会	会長	○
末田 尚行	大崎上島町PTA連合会	会長	欠席
信谷 俊樹	大崎上島町議会	議長	○
水橋 直行	大崎上島町議会	副議長	○
閑田 大祐	総務福祉文教常任委員会	委員長	○
森若 厳	産業建設常任委員会	委員長	○
小田 博	大崎上島町	副町長	○
佐々木智彦	大崎上島町教育委員会	教育長	欠席
坂田 誠	大崎上島町	総務課長	○

【開会】

＜事務局 第5回大崎上島町振興基本計画審議会開会宣言＞

【1 有田会長挨拶】

＜有田会長挨拶＞

委員の皆様におかれましては、年末のご多忙の中、第5回大崎上島町振興基本計画審議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

前回の審議会では、第3次総合計画の策定とともに、人口減少対策を進めていくための総合戦略の策定にあたって、本審議会で議論していくことについて、皆様のご了承をいただきました。

本日は、主に、大崎上島町の人口動向を踏まえた、人口変化が地域に与える影響や、目指す将来像の実現に必要な政策シナリオについて、また各政策における施策などについて、事務局から説明があると伺っております。

特に、本町の趨勢人口の推計結果に関しましては、かなり衝撃的な数値が予測されておまして、人口減少対策はまさに「待った無し」の状況であります。

まずは、こうしたデータから現実を直視し、真に取り組むべき有効な施策をしっかりと議論し、選択した上で、それらを直ちに実行に移していく必要があると考えております。

それでは、本日も、委員の皆様からの忌憚のないご意見をいただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

【2 協議事項】

2-1 【大崎上島町第3次長期総合計画】

会長	これより議事を進めさせていただきます。 2の協議事項に入ります。「(1)大崎上島町第3次長期総合計画基本構想(案)」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	＜資料1説明＞
会長	ただいま、事務局から説明がありましたが、ご質問等はありませんでしょうか。
各委員	＜意見なし＞
会長	続きまして、協議事項「(2)大崎上島町第3次長期総合計画基本計画(案)」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	＜資料2説明＞
会長	ただいま、事務局から説明がありましたが、ご質問等はありませんでしょうか。
委員	7ページの「基本施策3 コミュニティの活性化」の目標指標にある「地域幸福度」とは、何を基準にどの機関が評価するのでしょうか。

	また、数値化できるものなのでしょうか。
事務局	令和5年度に実施した町民意識調査の項目の一つとして、デジタル庁が推奨しているウェルビーイング指標の数値を把握するために実施したものであり、0点から10点までの11段階で回答者個人の主観で評価したものを集計した結果です。個人の主観による評価ですので、回答者によって違いが出てきます。なお、質問項目はデジタル庁が示しているもので、統一化されていますので、他自治体との比較も可能です。オープンデータとしても公表もされているものなので、一定の信頼性はあるものと考えています。
委員	審議会で意見した項目は、どの程度反映されているのでしょうか。
事務局	いただいた意見は、担当課を通じて基本計画に反映しています。
委員	具体的にどのように意見が反映されているのでしょうか。
事務局	意見を各課と共有して、はっきりとこれをやりますという100%の回答ではありませんが、それに沿った形で反映はしており、漏れは無いと考えています。
委員	私は外国人の問題について発言しましたが、どこに反映されているのでしょうか。
事務局	インバウンドを含めた観光誘致に関しては、10ページの「基本施策4 観光の振興」の課題に記載しています。また、31ページの「基本施策12 自分らしく生きる地域づくり」では、外国人に関する人権問題についても現状に記載しています。
委員	ありがとうございます。前回、犯罪をした人に対する支援の内容について明確な回答がありませんでした。どういう犯罪が対象なのか、また犯罪をした人が仮に外国人だった場合にはどうなのでしょうか。
事務局	住民課と協議した結果、外国人と日本人で支援内容に相違は無く、刑期を終えた人への就業などの支援を実施する方針です。
委員	犯罪をした人のために税金が使われるということでしょうか。支援の内容について教えていただけないでしょうか。
事務局	再度、担当課に確認して回答します。
委員	3点伺います。 1点目ですが、人口減少対策に必要なのは、優良な子育て住宅をきちんと整備して、若者の定着を図ることだと思います。そういった住宅支援によって若者の定着を図る施策は記載されていますか。 2点目は、大崎上島学の位置付けを今回どのように考えているのでしょうか。これまで実施したことについては大いに評価しますが、大崎上島学はあまりに学校教育に頼りすぎていて、町の施策として連携

	<p>が取れていなかったり、細切れになって流れができていなかったりで、効果を生んでいないのではないかという疑問があります。それに対し、どのような修正がなされているのでしょうか。</p> <p>3点目は、地産地消についてです。水産業に関しては記述していただいています、農産物に関しても同じく地産地消の活動に位置付けていく必要があります。地元産品をきちんと地元の人が購入して消費し、町外の方にも購入してもらいなども含め、今後、地産地消を進めていくための販売施設の整備についても、本計画に記載する必要があると考えますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>1点目の子育て住宅の整備については、44ページの「基本施策 17 快適で持続可能な居住環境の整備」の主な施策と内容において、新婚、子育て世代やU・Iターン者が安心して居住可能な耐震性の高い定住促進住宅を整備することを記載しています。</p> <p>2点目ですが、町教育委員会が所管する大崎上島学は、小学校から中学校までの義務教育期間における地域の歴史や伝統文化の継承を扱っています。一方で、大崎海星高校で扱う大崎上島学は全くの別物となっています。これに関しては、今後、町教育委員会と調整し、幼稚園、保育園を含め、小学校、中学校から大崎海星高校までを大崎上島学で繋げていきたいと考えています。</p>
委員	<p>そういう体制づくりをすることを基本計画に記載するというのでしょうか。</p>
事務局	<p>基本計画にはそこまで詳しくは記載しておらず、5ページの「基本施策 2 就学前教育・学校教育の充実」の主な施策と内容「03 豊かな心の育成」で幅広く捉えています。</p>
委員	<p>ビジョンそのものは理解しているつもりで否定するものではありません。人口減少を食い止めてUターンに繋げていこう、小学校、中学校、高校を通して、きちんと人間性を育てることが目的です。そこが一貫して繋がっていないといけません。人口減少対策に繋げるための大崎上島学の練り直しをやらずに、これまでの大崎上島学のようにその都度の思い付きでやっているようでは何の効果も生まれません。きちんと町が練り直した、一貫した大崎上島学が基本計画に記載されるべきではないかということを上申しているのです。</p>
事務局	<p>わかりました。大崎上島学についてはそういう方向で進めていきますので、分かりやすく明記するよう修正します。</p> <p>最後になりましたが、3点目の地産地消についても大崎上島学に繋がると思います。例えば、小学生に地元で獲れた魚を食べさせてあげ</p>

	<p>たい場合に、高校生がサポートして一緒に魚を釣って料理して美味しくいただくようなサイクルを構築しながら、大崎上島学でも地産地消を取り扱います。また、漁業だけでなく農産物に関しても、41 ページの「基本施策 16 総合的な土地利用の推進」の施策推進の方向性の中で、海の駅のような、賑わいのある地元産品の販売施設を整備することを見据えて記載しています。</p>
委員	<p>大崎上島町のDXを推進するためのツールとして、全ての町民が、買い物だけでなく、タクシーやフェリーなどの交通機関でも利用可能な地域通貨を作って欲しいと思います。ポイントにより各商店での買い物がキャッシュレスで可能になるような地域通貨のことで。よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>提案いただいた地域通貨は、既存のおと姫カードとは何が違うのでしょうか。</p>
委員	<p>おと姫カードは商店によって利用が限定されます。交通機関でも利用可能な統一したものがあれば良いと思います。大崎上島町に一番相応しいものとなるよう、大崎上島町商工会でも模索中で、安芸太田町の地域通貨「morica（もりか）」を研究したいと考えています。</p>
事務局	<p>38 ページの「基本施策 14 商工業の振興」の主な施策と内容「01 商工会の活動支援」において、IT化への設備投資などの最新技術の導入を促進することを記載しています。担当課である地域経営課と大崎上島町商工会で連携を図りながら検討していきます。</p>
委員	<p>22 ページの「基本施策 8 生涯学習の促進」の主な施策と内容「03 子どもの育成と家庭教育の推進」には、「子どもが健やかに育つ環境づくりと、地域の人々のつながりの中で多様な体験をしながら育まれるよう、関係機関・団体などと連携し、育成活動を推進します。」と記載があります。現在、青少年育成大崎上島町民会議においても、少人数ではありますが啓発活動などいろいろなことを実施しています。これに対し、町はどういう連携を模索しているのかをお聞きします。</p>
事務局	<p>担当課に確認して回答します。</p>

2-2 【大崎上島町第3次地方人口ビジョン・総合戦略】

会長	<p>続きまして、協議事項「(2) 大崎上島町第3次地方人口ビジョン・総合戦略」について、株式会社さとゆめから説明をお願いします。</p>
株さとゆめ	<p><資料3説明></p>
会長	<p>ただいまの説明について、ご質問等はありませんでしょうか。</p>

委員	大崎上島町はIターンで成功している町だと思います。Iターンに関しては現状維持+ブラッシュアップ程度で、Uターンにもっと注力すべきではないでしょうか。
事務局	Uターンの優先順位を高め注力するよう、検討を進めます。
委員	7ページの人口ピラミッドについて、15～19歳のうち網掛け部分は広島商船高専と広島叡智学園の学生である旨が記載されていますが、この他にも、大崎上島町学習交流センターに住む寮生が約30名いるはずで、確認してみてください。
事務局	わかりました。ありがとうございます。
委員	33ページの「ふるさと回帰1%戦略(仮称)」について、例えば2046年頃にはますます人口減少が進行している中で、毎年30人も40人も回帰するだけの余力があるのでしょうか。
事務局	この数値の回帰を継続させることは厳しいとは思いますが、何かしなくてははいけません。できる範囲の戦略として、「ふるさと回帰1%戦略(仮称)」を参考で紹介していますので、目標数値として理解してください。
委員	直近では5人や10人の目標を設定しつつ、現状としてもそれだけの人数しか帰ってこない中で、さらに人口減少が進行している30年後とかに数十人という目標数値は到底達成できないと思います。
事務局	第2次地方人口ビジョンを見ても目標人口との乖離があることは理解していますが、このままでは人口減少が続くため、目標設定のためのシミュレーションとしています。
委員	5～10人程度の継続ならば理解できますが、これは難しいと思います。
委員	難しい数値かもしれませんが、そう言っているのは議論にならないと思います。Uターンを促すための全国的な戦略や取組事例はあるのでしょうか。
㈱さとゆめ	島根県江津市では、高校魅力化として地域課題を発掘し、解決策を提案してもらったりしています。小学校、中学校、高校で縦の流れで仕組みを作ることと、デジタルなプラットフォームで繋ぎとめることが有効だと考えます。
委員	プラットフォームを利用して情報発信することで、Uターン者が増加した具体例はありますか。
㈱さとゆめ	これまでの人口減少対策はほとんどIターンに特化していますが、他自治体とも関わる中で、最近ではUターンの議論が増えていきます。Uターンで成功している自治体は思い浮かびませんが、これからだと思います。
委員	大崎上島町として独創性を持って組み立てればよいでしょうか。
㈱さとゆめ	そうですね。地域の愛着が高まればUターンすると一般的に思ってい

	ても、成功していないのが現状で、プラットフォームで繋ぎとめることが大切です。あと、近年の大学生はインターンシップに参加する割合が高まっています。一方で、地方の地元企業はインターンシップを設計することに慣れていないことが多いため、地元企業がきちんとインターンシップを設計することも大切だと考えます。
委員	中高生アンケート調査結果では、将来、大崎上島町に戻りたいと回答した生徒が1名しかいなかったと思います。私としては、子育て中の親に対し、「子どもにUターンしてもらいたいかを考えながら子育てしているか」をアンケートで問って欲しかったです。子どもは親の背中を見て育ちます。親がどう考えて生きているかということが、子どもが「将来、大崎上島町に戻りたい」と思うか否かの大きな要因になります。子どもだけではなく、親の意見を聞くことも必要だったと思います。
株さとゆめ	他自治体のアンケート結果では、保護者が地域のことを好きではなく、「帰ってこなくてもいいよ」と子どもに言っているようなケースもありました。コミュニティで共助力を高め、地域への誇りを高めていく必要があると思います。
委員	Uターンを高めようとする、子育て世代の親に対しても働きかけないと実現は難しいと思います。
委員	全国の中で、少子化を解消している地域はありますか。
株さとゆめ	一般的には出生率は西が高く、東が低いです。合計特殊出生率が全国第1位の市町村の事例を読み解いたことがあります。例えば、どれだけ人口が減っても学校を存続させることや、コミュニティ等を守っていくスタンスで政策に取り組んでいます。因果関係の統計は見えてはいませんが、行政としてコミュニティを守っていくスタンスが、住みやすさや子育てのしやすさに繋がっているのではないかと思います。
委員	「住みやすさ」「気楽さ」「安全」「安心」「快適」ということに尽きると思います。日本全国でさまざまな施策が講じられていますが、いわばゼロサムの状態です。大崎上島町の特徴を活かし、これまでの施策を根気よく継続することも大切ですが、例えば、これまでの広島叡智学園の誘致やグラウンドゴルフ場「シーパーク大串」の整備のような大きな魅力や目玉を掲げていかなければいけないと思います。
会長	続きまして、資料4について、説明をお願いします。
株さとゆめ	<資料4説明>
会長	ただいまの説明について、ご質問等はありませんでしょうか。
各委員	<意見なし>

2-3 【その他】

会長	それでは最後に、今後のスケジュール等について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<資料5説明>
会長	ただいまの説明について、ご質問等はありませんでしょうか。
各委員	<意見なし>
会長	本日の議事については、以上となります。スムーズな進行にご協力いただき、ありがとうございました。 それでは、進行を事務局にお返しいたします。
事務局	本日は、大変お忙しいところ、ありがとうございました。 次回の審議会については、事務局から委員の皆様へ日程を調整させていただいた上で、開催のご連絡を文書にてお知らせします。

以上